

プログラム名 (40字以内)	中山間地域を見る・感じる・考える～北海道鷹栖町で、今後の中山間地域・地方創生について考えよう		
団体名/所属	鷹栖町産業振興課農業振興係		
活動区分	農林水産業などに関わる地域体験活動、フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	自動抽選
募集人数	2人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2025/8/25(月)～8/29(金)	主な活動予定場所	北海道鷹栖町
プログラム実施の目的	農業をはじめとした、中山間地域の産業・生活の実情を実際に体験し、町民やさまざまな施設の職員との交流の機会を重視し、その中で中山間地域の実情を感じてもらう。また、都会の住民の視点から見た、「隠れた宝」「隠れた課題」を探し、鷹栖町外の人たちが鷹栖町に興味を持つようなPR方法を検討する。		
具体的な内容(800字程度)	北海道鷹栖町は、旭山動物園で有名な北海道第2の大都市・旭川市に隣接しており、山に囲まれ豊かな緑と水に恵まれている。山がちな条件不利地(中山間地域)であるが、主要産業の農業は、北海道有数のおいしいお米とトマトジュースの産地(「オオカミの桃」として販売)といえるほど盛んである。もちろん、冬は雪に閉ざされる。教育・福祉・生活・産業・農業・インフラ整備・防災等々、さまざまな取組を町は進めているが、雪が降らない都会と、雪に閉ざされる鷹栖町のような地域では、課題やアプローチは違うものになる。「地方創生」が社会で大きく取り上げられる中、そんな鷹栖町で、中山間地域の生活を実際に体験しながら学び、地域の隠れた宝を発見し、また地域の課題を感じ、今後の中山間地域・地方創生のあり方を考えて欲しい。 具体的な活動としては、鷹栖町内に滞在し、農業体験等の体験活動を行うほか、町民との交流活動・フィールドワークを行う。中山間地域の実情をさまざまな面から学び、理解し、最終的には(帰京後)現在の鷹栖町について感じた印象と、今後の鷹栖町の姿や課題について考えたことを、自由にレポートの形にまとめる。特に、「都会の住民の視点から見た、鷹栖町の「隠れた宝」「隠れた課題」を探す」ことを目指して欲しい。 少人数の体験活動であるので、町内見学やインタビュー等の滞在中の活動に当たっては、受験生にアンケート等を行うことにより、最大限各受験生の希望に沿った形・内容のものを行えるようにし、受験生の興味に合った形で鷹栖町について学べるよう配慮する。農業関係に限らず、中山間地域における教育・福祉・生活・産業・農業・インフラ整備・防災等々、可能な限り一人一人の希望にあった見学・体験・交流活動が行えるように計画する。とにかく、できるだけ自由に、たくさんの場所を見て、たくさんの人とコミュニケーションをとって、「地方」「中山間地域」「鷹栖町」の実情を感じて、今後について思いをめぐらせるような企画にする。 ＜活動内容＞ ① 町の概要についての講義・町長との懇談 ② 農業体験(2日程度、水稲・野菜・酪農等) ③ 町民や町内機関へのインタビュー(受験生の関心にあわせた形で企画) ④ 受験生の関心にあわせた形での体験活動・フィールドワーク ⑤ 鷹栖町への移住定住人口、交流人口を増やすための町のPRの内容・方法等を具体案を検討		
【総額】参加するための費用	124,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	60,000円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	50,000円		
【内訳】参加するための費用(その他)	食費10,000円(1日約2,000円×5日間)		
奨励金額(予定)	25000円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		